

様 式

会議の名称	本庄市男女共同参画審議会 第2回会議
開催日時	令和4年9月2日(金) 午前・ 午後 1時30分から 午前・ 午後 3時15分まで
開催場所	本庄市役所 職員厚生室
出席者	委 員：矢野間委員、清水委員、柿沼委員、坂上委員、大藤委員、 都丸委員、倉林委員、田島委員、小山委員、木村委員 事務局：早野市民生活部長、赤尾市民活動推進課長、野本課長補佐、 飛田主査
欠席者	加川委員、巴委員
議 題 (次 第)	1. 開 会 2. あいさつ 3. 議 事 第4次本庄市男女共同参画プラン（案）について 4. その他 男女共同参画に関する市民アンケート速報値について 5. 閉 会
配 付 資 料	資料1 第4次本庄市男女共同参画プラン（案） 資料2 第4次本庄市男女共同参画プラン策定スケジュール 資料3 男女共同参画に関する市民意識調査【速報版】 参考資料 第3次本庄市男女共同参画プラン
その他特記事項	審議会の協議により、発言者氏名は記載しないこととする。
主 管 課	市民活動推進課

会 議 録

会 議 の 経 過	
発 言 者	発言内容・決定事項等
1. 開会 事務局	本日の進行役を務める市民活動推進課長の赤尾です。よろしくお願いいたします。 本日は公私共に忙しいところ、ご出席をいただきましてありがとうございます。ただいまから本庄市男女共同参画審議会第2回会議を始めさせていただきます。 それではまず、清水会長よりごあいさつをお願いいたします。
2. あいさつ 会 長	皆様こんにちは。本日はお忙しいところ、またお足元の悪い中、第2回男女共同参画審議会にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。7月中旬から下旬にかけて実施された男女共同参画に関する市民アンケートの結果をもとに第4次本庄市男女共同参画プラン（案）の第2章から第5章までが事務局より提案されております。皆様から忌憚のないご意見をいただきながら議事を進めさせていただきたいと思います。本日はよろしくお願いいたします。
3. 議事 事務局	ありがとうございました。 それでは議事に入りますが、本庄市男女共同参画審議会条例第6条第1項で、「審議会は、会長が招集し、会議の議長となる。」とございますので、議事につきましては、清水会長をお願いいたします。
会 長	それでは、議事に入らせていただきます。なお、ご発言、ご質疑等ございましたら、挙手の上、お名前をお知らせいただき、ご発言くださるようお願いいたします。 では、議題「第4次本庄市男女共同参画プラン（案）」について、事務局より説明願います。
事務局	（第4次本庄市男女共同参画プラン（案）について説明）
会 長	ただいまの説明に対して、何かご質問などはございますか。

委 員	今回の審議会に先立って事前に資料が配付されましたので、第3次プランや前回の審議会の資料と見比べたところ、第3章の政策目標3安心できる家庭生活と働きやすい就業環境づくりー施策の大項目(1)誰もが働きやすい環境づくりー施策の中項目3農業、商工業における男女共同参画の推進ー④農業従事者への支援の事業概要の欄が変更されていることに気づきました。まだ十分な説明をうけていませんので説明してください。また、推進指標の一覧が今回の資料の最後のページにまとめてありますが、今回のプラン案では削除されているものがあります。具体的に述べると、「職場における男女比の割合」、「学童保育利用児童数数の割合」、「障害者雇用率」、「防犯活動ボランティア団体数」です。これについても説明をお願いします。
事務局	農業従事者への支援についてですが、第3次プランでは独身就農者の出会いの場づくりへの支援を、第4次プラン案では女性農業者への支援を掲載しております。担当課の農政課から、第3次プランの計画期間内に複数回実施した農業者の婚活イベント支援事業について、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、確実に実施できると言いがたいことから、第4次プラン案では、女性農業者団体への支援活動を掲載したいと回答があったため、前回プランから修正しております。 次に、推進指標ですが、順番に説明いたします。「職場における男女比」についてですが、担当課の行政管理課より、市における男女比の割合については、採用の段階から男女を問わず、求めている人物像にふさわしい応募者から採用をしていることから、推進指標とするには不適切ではないかという指摘を受け、今回推進指標から削除しています。「学童保育利用児童数の割合」については、担当課の子育て支援課より、第3次プランの目標値22%(令和4年度)に対して令和3年度の実績値が26%と既に大きく上回っていることや、待機児童数が数人と低水準であることから、概ね目標を達成したとの報告を受け、推進指標から外しております。「障害者雇用率」ですが、担当課の障害福祉課より、ハローワーク(公共職業安定所)と共同で事業を推進していましたが、ハローワークが目標値としての障害者雇用率を設定しなくなったため、推進指標として目標値を設定することが難しいとの回答を得たため、推進指標から削除しています。「防犯活動ボランティア団体数」ですが、担当課の危機管理課から、防犯活動ボランティアの育成や支援は引き続き継続しますが、あくまでもボランティア団体であるため、推進指標の数値目標値として掲載することは趣旨にそぐわないのではないかという指摘を受けたことから推進指標から今回削除しています。
委 員	いま事務局から説明を聞きまして、ああそうなんだと思うところがある一方で、それはどうなんだろうかと感じる部分もありました。特に推進指標に

	関しては、前回から変更された箇所については、十分な説明と審議会における議論が必要だと思います。農業従事者への支援の婚活事業については、新型コロナウイルス感染症の感染状況次第では実施できる可能性もあるのであれば、掲載をしない理由としては少し弱いかなと思います。
事務局	委員よりご指摘いただきました、農業従事者への支援内容と各推進指標につきましては、各事業の担当部署に今回の審議会でご指摘いただきました内容を伝え、再検討し、その結果を次回の審議会でご提示させていただきたいと思います。
委 員	第4次プラン案の第2章男女共同参画を取り巻く本庄市の現状と課題のなかに、図表20として市町村防災会議委員の女性比率が県内市町村の合計と本市を含んだ近隣市町村のそれぞれの数値が掲載されています。12ページの中で他に掲載されている自治体職員や自治会長については、掲載される理由が何となく分かるのですが、この市町村防災会議については、なぜ掲載されているのか、その理由を教えてください。次に、推進指標の中に、LGBTQという言葉の内容を知っている人の割合を現状値33.4%から令和9年度の目標値として50%に高めると掲載されていますが、この根拠というか経緯を教えてください。
事務局	最初の質問からお答えします。防災計画を策定するメンバーの中に女性が参加することにより、男性だけでは見落としがちなニーズや対策、女性の目線に立った配慮などを計画に取り入れることができるため、多くの自治体が防災会議委員の女性比率を高めることを重要視しています。埼玉県男女共同参画に関する年次報告でも、毎年、県内各市町村防災会議委員の女性比率が掲載されており、本市のプラン案に引用しています。2番目の質問ですが、多様な性のあり方については、公民館で開催する人権教育研修会や本庄市民文化会館やセルディで開催する人権教育研究集会・人権教育セミナー、各種人権に関する講座などで、人権啓発活動として理解の促進を進めております。明確な根拠というものはお示しできませんが、市民の方の半数には、LGBTQの具体的な内容まで知っていただけることを当面の目標として設定したものになります。
委 員	市町村防災会議の女性委員の比率については、女性ならではの視点やニーズを防災計画に取り入れることができるということから、男女共同参画プランに掲載したということですね。分かりました。LGBTQの認知率についてですが、同じページに掲載されている推進指標のなかに、人権尊重意識を醸成するセミナーや講座の参加者数を843人から1,900人と倍増するこ

	とを目標に据えていることと比較すると、物足りないような気がしていて、例えば、現状値から倍増させて70%でもいいのではないかと感じます。性的マイノリティに関しては、ニュース等で話題となることも多く、関心をもっている市民の方も多いのではないかと思います。当事者の中には、たくさんの方の困難や悩みを抱えて暮らされている方もいらっしゃると思います。そのような中で、目標値としての50%という水準を再考してもらってもよいのではないかと思います。
事務局	今回審議いただいております第4次プランはアンケート結果を盛り込んだ最初のプランとなります。まずは、50%という目標値を掲げ、着実に達成できるよう啓発活動を実施していきたいと思いますが、委員よりご指摘いただきました目標値の水準に関しては再検討させていただきたいと思います。
委 員	性的マイノリティの方については、ドラマや映画などのテーマとなることも多く、様々な媒体を通じて接する機会が増えていると実感します。社会的な認知度も年々高まっているのではないのでしょうか。本プランの計画期間は5年間ですので、それが3年間であれば目標値が50%でも妥当かなと思わないことはありませんが、5年間ですから、社会的な背景を考慮して、もう少し高い目標値を掲げるのはどうでしょうかと思ひまして意見しました。
委 員	第4章の政策目標5 市民との協働による男女共同参画の推進の中に推進指標として「市民との協働による男女共同参画等の講演、セミナーの開催回数」が掲載されていますが、前回のプランに掲載されていたものと全く同じ内容です。新型コロナウイルス感染症の感染状況なども影響しているのかなと想像しますが、Zoomを利用するなどして、より積極的に事業を実施してもらいたいと思います。男女共同参画の分野は幅広いので、プランに掲載されているDVに関するセミナーなども是非開催してください。
事務局	こちらの推進指標につきましては、市民の方に事業の企画段階から参加いただきたいと考え掲載しております。政策目標1 人権が尊重される意識づくりで掲載しております男女共同参画セミナーにつきましては、主に市が企画し実施しますので、これとは分けております。第3次プランを策定して以降、市から市民の方に呼びかけ、イベントの企画段階まで進みましたが、想定していたイベントの性質上、新型コロナウイルス感染症の感染対策を十分とることが難しく実施まで至ることができませんでした。今後は、市民の方により積極的に参加を呼びかけ、様々なイベントを企画から実施までできるよう努めたいと思います。

事務局	さきほどの、説明に補足いたします。男女共同参画セミナーは年に複数回実施しておりまして、その中にはZoomを利用したヨガセミナーなどもあります。講師の先生は市民の方をお願いしました。その観点からすると、今回の推進指標の市民との協働によるセミナーとしての実績に絶対にあてはまらない訳ではないと思います。男女共同参画の分野は非常に幅広いので、推進指標の目標値については複数回に変更できるか検討したいと思います。
委 員	ハラスメントに関する記述もプランに掲載されていますが、様々な場でハラスメントが問題となっていると聞いています。その中で、特にこれからいろいろな経験を積んでいく学生さんなどの若い世代に、デートDVやハラスメントなどについて考えることのできる機会を設けてください。
事務局	市では毎年夏休み前に、デートDVに関する啓発を目的として、漫画形式の冊子を市内の高校に在籍する新一年生に配布しています。これは市内の高校生達がストーリーを考え、本市出身の漫画家さんにイラストを依頼して作成したものです。ハラスメントにつきましても、関係機関と連携・調整して、啓発できる機会を設けることができるよう検討したいと思います。
委 員	先ほど、他の委員さんから市町村防災会議に関する質問がありましたが、防災に関しても、男女という話だけでなく、性的マイノリティの方への配慮も必要ではないかと思います。例えばトイレなどについてもお困りの方もいらっしゃると思います。実は、第1回会議の後に、性的マイノリティの方が避難所で直面する課題に関する記事の切り抜きを担当課に渡しています。この男女共同参画プランにどこまで盛り込むものか中々難しいとは思いますが、検討してほしいと思います。
事務局	第1回会議の後に市民活動推進課から担当部署に対して、委員のご指摘があったことは伝えております。部署内で検討をしている状態だと思しますので、プランに対してなにか掲載できるのか、再確認いたします。
会 長	他に質問はございますか。 (なしの声) では、議事について審議を終了したいと思います。

4. 議事 事務局 事務局 事務局	委員の皆様、慎重なご審議ありがとうございました。 続きまして、次第4. その他について、事務局よりご説明させていただきます。 前回の審議会でご報告いたしました通り、本市では7月中旬から7月下旬にかけて、18歳以上の市民を対象にして、男女共同参画を単独のテーマとする市民アンケートを実施しました。業務委託先の業者から8月22日に速報値が提出されましたので、今回ご報告いたします。 (市民アンケートの速報版を説明) 事務局からは以上になります。 次回の日程ですが、スケジュールでは10月に開催予定となっておりますので、会長及び副会長とご相談させていただきまして、日程等を決定させていただきたいと思います。 次回の審議会は、今回の審議会でごいただいたご意見等を反映したプラン(案)をご提示し、ご審議いただく予定ですので、よろしくお願いいたします。
5. 閉会 事務局	それでは、閉会の言葉を清水会長よりお願いいたします。 本日は、本庄市男女共同参画審議会第2回会議にご出席いただきましてありがとうございました。 以上をもちまして、会議を閉会といたします。

会 長 清水 静子